

第1回北竜町議会定例会 第3号

令和2年3月13日（金曜日）

○議事日程

1 諸般の報告

2 委員会報告
第1号 予算審査特別委員会審査報告

議案第10号 北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）について

議案第11号 北竜町内の地域自治制に関する条例の一部改正について

議案第12号 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について

議案第13号 職員の給与に関する条例の一部改正について

議案第14号 非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正について

議案第15号 北竜町生活支援・生きがい対策事業条例の一部改正について

議案第16号 北竜町立やわら保育園設置条例の制定について

議案第17号 北竜町農村公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第18号 北竜町定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正について

議案第19号 北竜町商工業元気支援応援条例の一部改正について

議案第20号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町碧水地域支え合いセンター）

議案第21号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町玄米ばら調製集出荷施設）

議案第22号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町観光施設）

議案第23号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町社会体育施設）

議案第24号 令和2年度北竜町一般会計予算について

議案第25号 令和2年度北竜町国民健康保険特別会計予算につ

いて

議案第26号 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計予算について

議案第27号 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について

議案第28号 令和2年度北竜町介護保険特別会計予算について

議案第29号 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について

議案第30号 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について

議案第31号 令和2年度北竜町簡易水道事業会計予算について

3 閉会中の所管事務調査について

4 議員の派遣について

○追加日程

5 行政報告

6 議案第32号 令和元年度北竜町一般会計補正予算（第6号）について

7 決議案第1号 「民族共生の未来を切り開く」決議

8 意見書案第1号 「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書

○出席議員（8名）

1番 中村尚一君

2番 尾崎圭子君

3番 北島勝美君

4番 小松正美君

5番 小坂一行君

6番 松永毅君

7番 藤井雅仁君

8番 佐々木康宏君

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町長 佐野 豊君

副町長 高橋 利昌君

教育長 有馬 一志君

社会福祉協議会
事務局 中村 道人君

総務課長 続木 敬子君

企画振興課長兼
ひまわりプロジェクト
推進室長 南波 肇君

住 民 課 長	東 海 林	孝 行	君
建 設 課 長	奥 田	正 章	君
産 業 課 長	細 川	直 洋	君
農 業 委 員 会 長	南	秀 幸	君
農 事 務 局 長	井 口	純 一	君
教 育 次 長	北 清	広 恵	君
会 計 管 理 者	南	祐 美 子	君
地 域 包 括 支 援 長			
セ ン タ ー 長			
永 楽 園 長	森	能 則	君
和 保 育 所 準 備 室 長	杉	泰 裕	君
総 務 課 主 幹	高 橋	克 嘉	君
代 表 監 査 委 員	板 垣	義 一	君
農 業 委 員 会 長	水 谷	茂 樹	君

○出席事務局職員

事 務 局 長	高 橋		淳 君
書 記	高 橋	本 僚	太 君

◎開議の宣告

○議長（佐々木康宏君） ただいま出席している議員は8名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 諸般の報告

○議長（佐々木康宏君） 日程第1、諸般の報告を行います。

令和2年第1回北竜町議会定例会は、3月10日から開会されております。町長から提出された案件中議案第10号から議案第31号の審議は、予算審査特別委員会に付託されております。

以上で諸般の報告を終わります。

◎日程第2 委員会報告第1号

○議長（佐々木康宏君） 日程第2、委員会報告第1号、議案第10号から議案第31号までを議題といたします。

予算審査特別委員長から審査の結果を報告願います。

藤井予算審査特別委員会委員長。

○予算審査特別委員長（藤井雅仁君） 令和2年度会計予算審査特別委員会意見。

令和2年3月11日、第1回北竜町議会定例会において本特別委員会に付託された議案第10号から議案第31号までの22件については、3月12日から3月13日の2日間にわたり、それぞれ所管担当部局の説明を聴取し、審査を行ったところであります。

審査の結果として、口頭意見4件を申し上げて、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、口頭意見として4件申し上げます。1点目は、新規就農希望者のサポート体制の充実についてであります。現在新規就農者対策について新規就農希望者の考えと行政の考えにギャップがあると感じるので、新規就農者の考えをより一層理解し、指導助言をしていただけるようサポート体制の充実について検討をいただきたい。

2点目は、ひまわり搾油推進事業について。大きな経費をかけて行う事業であるので、販路拡大を推進し、しっかりと成果を上げていただきたい。

3点目は、災害対策用物資備蓄の充実について。今回災害対策用物資を購入されるが、町内指定の各避難所への配分についても行ってほしい。

4点目は、予防接種事業について。町内の接種率が一般で29.8%程度のことだが、任意での接種ではあるが、しっかりとPRを行い、町民の健康管理に努めていただきたい。

以上、予算審査特別委員会委員長報告といたします。

なお、2日間にわたり説明をしていただきました職員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

す。

○議長（佐々木康宏君） 各委員、付け加えることはございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君） 予算審査特別委員会委員長の報告が終わりました。

この際、理事者において発言があればこれを許します。

佐野町長。

○町長（佐野 豊君） 予算審査特別委員会に付託されておりました議案第10号から議案第31号までの新年度予算に関わる議案14件と令和2年度一般会計予算並びに7特別会計予算について、ただいま藤井予算審査特別委員会委員長より口頭による意見4件を付して可決するとのご報告をいただきました。予算審査特別委員会での慎重なご審議を賜り、議決をいただきましたことに厚くお礼を申し上げる次第であります。

なお、頂きました口頭意見につきましては十分精査、検証して行政運営に努めてまいります。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大については、世界保健機構、WHOは昨日世界的流行を意味するパンデミックと認定し、7月の東京オリンピックの開催についても今検討が始まったようであります。一日も早い終息を心から願うものであります。人口が少なくても住民が活力にあふれて心豊かなまちづくりに全力で努力をしてまいりますので、議会のさらなるご支援をお願い申し上げて、一言挨拶します。ありがとうございました。

○議長（佐々木康宏君） 質疑、討論を省略し、採決をいたします。

議案第10号から議案第31号まで、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

○議長（佐々木康宏君） 全員挙手です。

したがって、議案第10号 北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）については、原案どおり可決されました。

議案第11号 北竜町内の地域自治制に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第12号 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第13号 職員の給与に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第14号 非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第15号 北竜町生活支援・生きがい対策事業条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第16号 北竜町立やわら保育園設置条例の制定については、原案どおり可決され

ました。

議案第17号 北竜町農村公園の設置及び管理に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第18号 北竜町定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第19号 北竜町商工業元気支援応援条例の一部改正については、原案どおり可決されました。

議案第20号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町碧水地域支え合いセンター）は、原案どおり可決されました。

議案第21号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町玄米ばら調製集出荷施設）は、原案どおり可決されました。

議案第22号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町観光施設）は、原案どおり可決されました。

議案第23号 公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町社会体育施設）は、原案どおり可決されました。

議案第24号 令和2年度北竜町一般会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第25号 令和2年度北竜町国民健康保険特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第26号 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第27号 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第28号 令和2年度北竜町介護保険特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第29号 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第30号 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算については、原案どおり可決されました。

議案第31号 令和2年度北竜町簡易水道事業会計予算については、原案どおり可決されました。

◎日程第3 閉会中の所管事務調査について

○議長（佐々木康宏君） 日程第3、閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。
局長。

○事務局長（高橋 淳君） （朗読、記載省略）

○議長（佐々木康宏君） 本件について、申出のとおり許可することにご異議ございません

んか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、閉会中の所管事務調査については、申出のとおり許可することに決定いたしました。

◎日程第4 議員の派遣について

○議長(佐々木康宏君) 日程第4、議員の派遣についてを議題といたします。

局長。

○事務局長(高橋 淳君) (朗読、記載省略)

○議長(佐々木康宏君) ただいまの局長朗読のとおり派遣することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、議員の派遣については、提出のとおり許可することに決定いたしました。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 3時11分

再開 午後 3時13分

○議長(佐々木康宏君) 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎日程の追加について

○議長(佐々木康宏君) お諮りいたします。

ただいま町長から行政報告1件、議案1件、議員から決議案1件、意見書案1件が提出されました。

この際、日程に追加し、議題にいたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

◎日程第5 行政報告

○議長(佐々木康宏君) 日程第5、行政報告を行います。

佐野町長。

○町長(佐野 豊君) 追加議案提出に係る行政報告を申し上げます。

産業課より北竜町新型コロナウイルス緊急経済支援対策についてであります。北海道の

新型コロナウイルス緊急事態宣言における不要不急の外出自粛要請を受け、本町においても会議やイベントの縮小、延期、中止、各種公共施設なども休館にするとともに、サービス事業、ショートステイ事業もクラスター感染予防の観点から縮小、休止を行い、利用者はもとよりご家族の皆様にも大変なご迷惑をおかけいたしております。あわせて、国からの感染拡大防止策の要請を受け、小中学校も春休み前まで休校となり、保護者の皆様の生活にも影響が出ているところであります。また、これらの要請により町内の商店、料飲店では宴会等のキャンセルも相次ぎ、客足の遠のきにより地域経済への影響は多大なものがあると予想されます。このたび北竜町商工会からの支援要請を受けて、新型コロナウイルスの早期終息を願い、北竜町新型コロナウイルス緊急経済支援対策の第1弾としてプレミアム商品券の発行を行います。まだまだ自粛の要請が出ておりますので、当面は計画の半分程度の発行となりますが、商工会と連携して少しでも町民が明るく元気に過ごしていただきたく発行するものであります。今後においても国や道の支援策を見極め、北竜町独自の支援対策も関係機関と連携して講じていかなければならないと考えております。つきましては、プレミアム商品券発行に関わります補正予算を提案いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（佐々木康宏君） 以上で行政報告を終わります。

◎日程第6 議案第32号

○議長（佐々木康宏君） 日程第6、議案第32号 令和元年度北竜町一般会計補正予算（第6号）についてを議題といたします。

理事者より提案理由の説明を願います。

高橋副町長。

○副町長（高橋利昌君） （説明、記載省略）

○議長（佐々木康宏君） 続木総務課長。

○総務課長（続木敬子君） （説明、記載省略）

○議長（佐々木康宏君） 議案第32号について提案理由の説明が終わりました。

これから質疑を行います。議案第32号について、質疑があれば発言を願います。

1番、中村議員。

○1番（中村尚一君） この間からもいろいろ新型コロナウイルスということで発言もさせていただきましたけれども、商工会からの要望、それからこの間もお願いした中で緊急経済支援対策ということでいち早く素早い決断をしていただいで対応していただいたということでお礼を申し上げたいと思います。

今回プレミアム付商品券ということなのですが、昨年の子供に対するやつは別に過去にココワのときとか様々プレミアム付商品券販売したと思うのですが、一気に売ってしまったときとか、あまり売れなくてちょっと残ったよということもあったと思うのですが、今回どうなるかちょっと想像つかないのですが、できれば希

望者に広く、欲しかったけれども、買えなかったということがないような対策を講じてほしいなと思いますし、4月1日から始まってどっと集中したら、あっという間になくなったということもあったりすると、その日都合悪くて行けなかったのだわというようなこともあったりすると広くいかないということもあるので、事前に予約みたいな感じでいうのができればいいかなと思うのです。そうすると、ある程度把握もできて広くいくのかなというふうに考えているのですけれども、その点いかがでしょうか。

○議長（佐々木康宏君） 高橋副町長。

○副町長（高橋利昌君） プレミアム商品券の販売については、商工会のほうに委託というか、お願いをしていく中でそこら辺のところも商工会のほうと打合せしながらやっていきたいというふうに思っておりますけれども、今のところは1人5セットということの中で、それを3セットに取りあえずはするのかどうかというのも商工会と打合せながら、ただ行政報告にもありましたように今回第1弾ということの中で計画の半分程度を取りあえずあれしますので、もし緊急に売り切れて買えない人がたくさんいて欲しいということであれば、また第2弾ということも考えていかなければならないのかなというふうに考えておりますので、そういうことでよろしく願いいたします。

○議長（佐々木康宏君） 1番、中村議員。

○1番（中村尚一君） 1弾、2弾とあるということで理解しましたので、1弾、2弾で併せてできるだけ平均に不公平感がないような状況でやっていただくようお願いしたいと思いますし、今回の取組が町民にとって元気が出て、それぞれ力が出て頑張っていこうというような、そんなことになればいいなと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

○議長（佐々木康宏君） また町長よろしく願いいたします。

他の議員、質疑があれば発言を願います。

（「なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君） 討論を終わります。

採決をいたします。

議案第32号、原案どおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

○議長（佐々木康宏君） 全員挙手です。

したがって、議案第32号 令和元年度北竜町一般会計補正予算（第6号）については、原案どおり可決されました。

◎日程第7 決議案第1号

○議長（佐々木康宏君） 日程第7、決議案第1号 「民族共生の未来を切り開く」決議についてを議題といたします。

本件については、提案者の説明を願います。

4番、小松議員。

○4番（小松正美君） 決議案第1号 「民族共生の未来を切り開く」決議について。

上記の決議案を会議規則第13条第1項の規定により、別紙のとおり提出する。

令和2年3月13日、北竜町議会議長、佐々木康宏様。

提出者、北竜町議会議員、小松正美、賛成者、北竜町議会議員、藤井雅仁議員でございます。

皆様ご承知のとおり、北海道には弥生時代がなく、13世紀ぐらいまで縄文、擦文時代が続き、蝦夷地のアイヌの人々は狩猟や漁労により独自の文化を形成してまいりました。2019年4月にはアイヌ新法が成立し、アイヌ民族が先住民族であると初めて明記されました。このようなことから、北海道白老町ポロト湖畔に4月24日にウポポイ、民族共生象徴空間が開設されるこの機会に民族共生社会をつくり上げていこうという決意を表明したく決議案を提案いたします。

「民族共生の未来を切り開く」決議（案）。

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ（民族共生象徴空間）が北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生する。

先住民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなるこの施設は、国では年間来場者100万人の目標を掲げ、道内においては官民一体となって誘客活動に取り組んでおり、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなげることにより、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

また、北海道を訪れる観光客の更なる増加は、新たな産業の創出・既存産業の活性化など相乗効果も期待される場所である。

よって、北竜町議会は、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、北竜町民の協力を得て「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明する。

以上、決議する。

令和2年3月13日、北竜町議会。

議員各位の賛同を求めるものであります。

○議長（佐々木康宏君） 提案理由の説明が終わりました。

決議案第1号について、質疑があれば発言を願います。

（「なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君） 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 討論を終わります。

採決をいたします。

決議案第1号、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、決議案第1号「民族共生の未来を切り開く」決議については、原案どおり可決されました。

◎日程第8 意見書案第1号

○議長(佐々木康宏君) 日程第8、意見書案第1号「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書についてを議題といたします。

本件については朗読を省略し、提案者の説明を願います。

2番、尾崎議員。

○2番(尾崎圭子君) 意見書案第1号「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書について。

上記の意見書案を会議規則第13条第1項の規定により、別紙のとおり提出する。

令和2年3月13日、北竜町議会議長、佐々木康宏様。

提出者、北竜町議会議員、尾崎圭子、賛成者、北竜町議会議員、北島勝美。

提出先、北海道知事。

「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書(案)。

いま、少子化の進行や子どもの貧困が北海道の喫緊の課題になっている。2017年に実施した「子どもの生活実態調査」では、全国平均を上回る5人に1人が貧困状態にあり、経済的理由で受診を断念せざるを得なかった世帯が17.8%、非課税世帯では32.6%と高いことが分かった。北海道のこども医療費助成の通院無料化は3歳未満、その上所得制限や一部負担金があり、他県から比べても大きく遅れており、道内の市町村では中学生や高校生までにと医療費無料化のとりくみが広がっているが地域によって格差があり、道の制度拡充による底上げが求められている。

よって、以下について要望する。

お金の心配をせずに必要なときに医療機関を受診できるように、北海道の子ども医療費助成制度を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年3月13日、北海道雨竜郡北竜町議会。

議員各位の賛同を求めるものであります。

以上です。

○議長(佐々木康宏君) 提案理由の説明が終わりました。

意見書案第1号について、質疑があれば発言を願います。

(「なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 討論を終わります。

採決をいたします。

意見書案第1号、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、意見書案第1号「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書については、原案どおり可決されました。

直ちに提案どおり北海道知事に対し本意見書を送付いたします。

◎閉会の議決

○議長(佐々木康宏君) 本定例会の会議に付された案件は全て終了いたしました。

したがって、会議規則第6条の規定により、本日で閉会いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(佐々木康宏君) 異議なしと認めます。

よって、本定例会は本日で閉会することに決定いたしました。

◎閉会の宣告

○議長(佐々木康宏君) 本日の会議を閉じます。

これで令和2年第1回北竜町議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時39分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員